

**対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「ニュー・フォレスト公立学校幼稚部・小学部通学バス整備計画」  
引渡式**

2019年11月14日、マンチェスター県において、対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ニュー・フォレスト公立学校幼稚部・小学部通学バス整備計画」の引渡式が実施されました。

土生川参事官は挨拶の中で、これまでにジャマイカで実施した草の根の歴史を振り返りつつ、本事業を通じて同校の児童の教育へのアクセス環境が大きく向上することを期待しました。また、日本の援助は人間の安全保障の理念に基づいていると述べつつ、ジャマイカは社会経済発展の可能性が大きく、教育分野で優秀な人材がより多く輩出されることを望むと述べました。

ニュー・フォレスト公立学校は、マンチェスター県の郊外に位置し、1948年に幼・小・高一貫校として開校されました。しかし、資金不足によって通学バスが購入できず、公共交通機関も未整備であったため、徒歩圏外に居住する児童は適切な交通手段で通学することができていませんでした。

本計画によって、登下校が困難であった児童や、課外学習活動の参加が制限されていた児童の教育環境の改善に寄与することが期待されています。

今般の引渡式には、被供与団体である小学校の関係者、スチュワート議員（マンチェスター県南地区選出）、リーチマン教育省第五地方局局长、国家教育基金等の教育・学校関係者、報道関係者、地域住民代表などの来賓や児童・生徒代表が出席しました。

被供与団体を代表してアンダーソン同校校長は、供与された通学バスは児童の教育環境の大きな向上に繋がるとして、日本に大きな感謝の意を表しました。スチュワート議員は、子供は国の未来であり、同県で最近完了された草の根事業であるキャンベルズ・キャッスル公立小学校校舎改修計画にも言及し、日本の一連の草の根支援はジャマイカの未来に繋がる貴重な贈り物だと深い感謝の意を述べました。



挨拶する土生川参事官



シャロン・アンダーソン・ニュー・フォレスト  
公立学校幼稚部・小学部校長



ナディン・リーチマン・教育省第五地方局局长



感謝の歌を披露する児童代表



式典に参加する学校関係者、地域住民代表



供与されたバスのテープカット